

「運動・スポーツと文化振興等に関するアンケート」実施報告

スポーツ推進局と環境生活部文化振興課が実施しました「運動・スポーツと文化振興等に関するアンケート」について、778名の方からご回答をいただきました。
アンケート結果をとりまとめましたので、ご報告します。

(1) アンケート実施期間

平成29年9月1日（金）～平成29年9月18日（月）

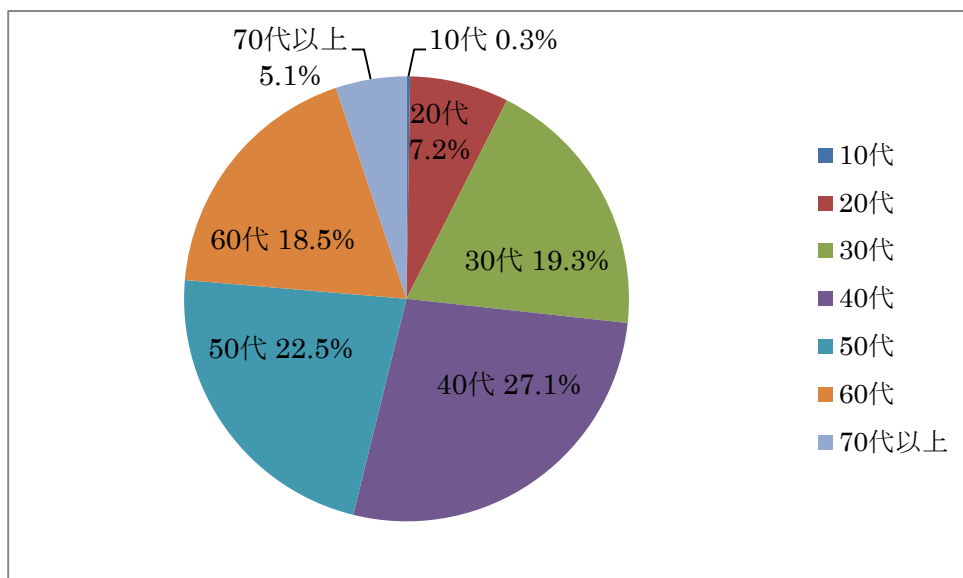
(2) アンケート回収状況

対象者数 1,166名
回答者数 778名
回答率 66.7%

(3) 回答者属性

【年代別】

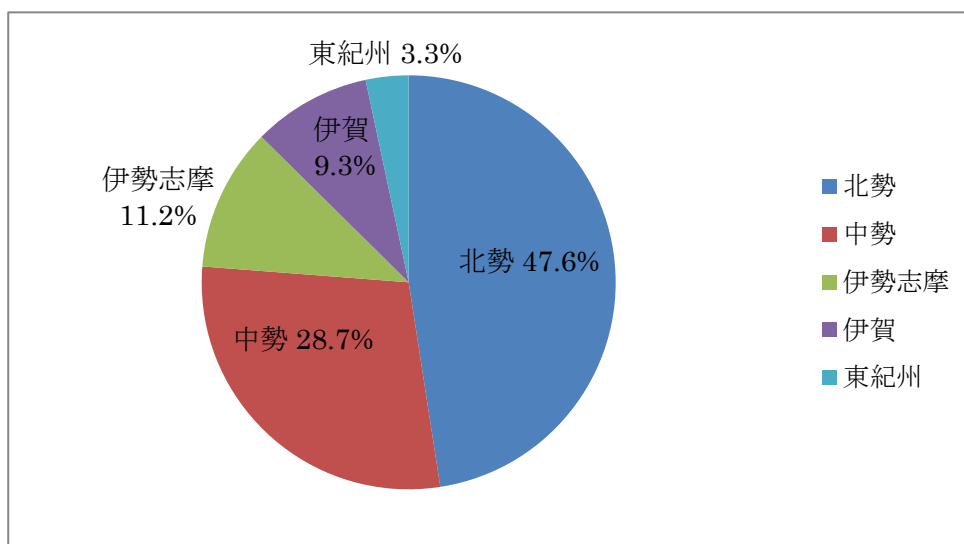
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
回答者数（人）	2	56	150	211	175	144	40	778
割合	0.3%	7.2%	19.3%	27.1%	22.5%	18.5%	5.1%	100.0%



※割合は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

【地域別】

	北勢	中勢	伊勢志摩	伊賀	東紀州	計
人数	370	223	87	72	26	778
割合	47.6%	28.7%	11.2%	9.3%	3.3%	100.0%

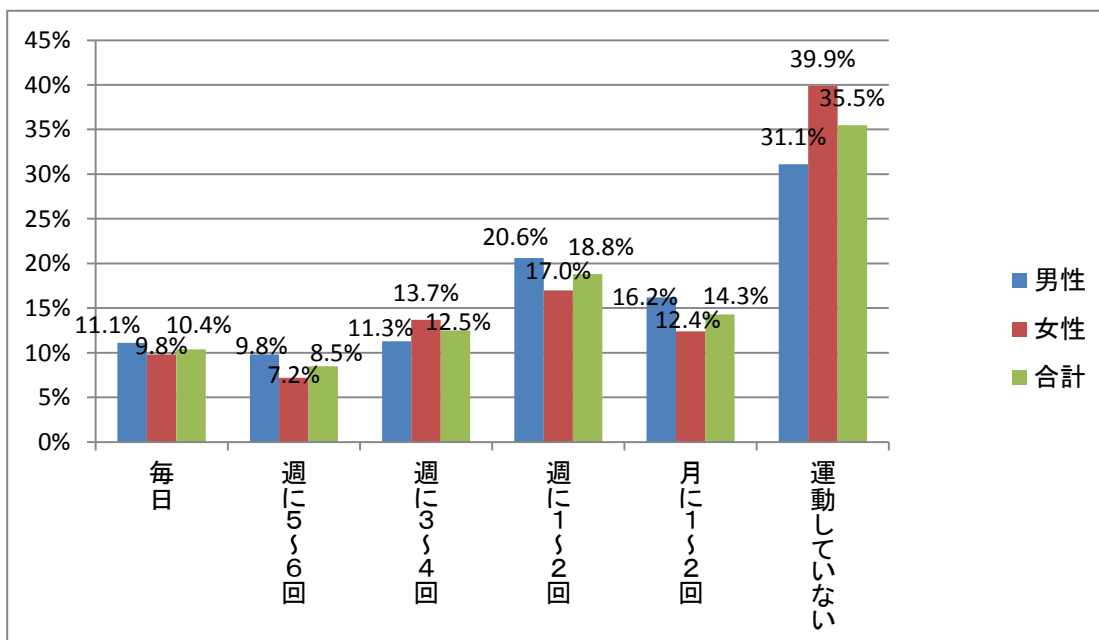


(4) アンケート集計結果

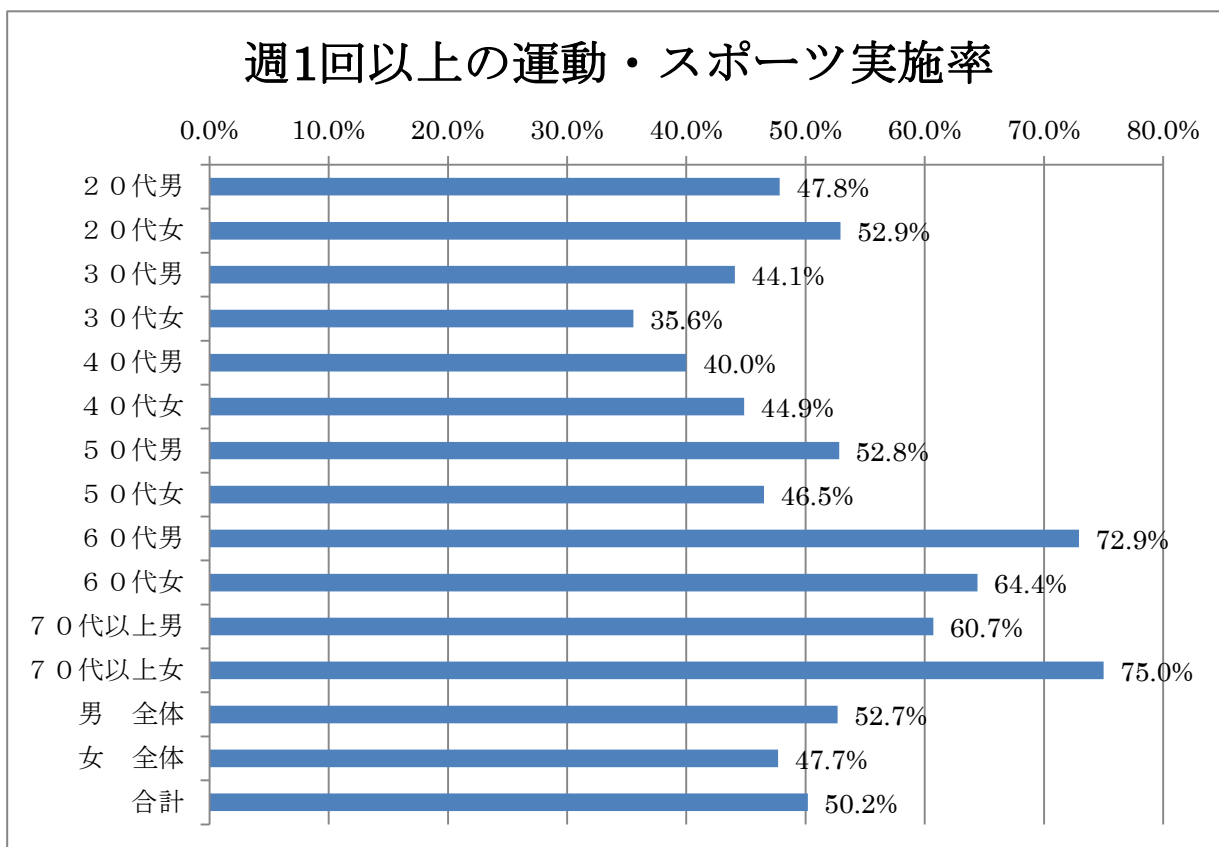
Q1 運動・スポーツ実施回数について

あなたは、運動やスポーツをどの程度実施していますか。あてはまるものを一つ選んでください。

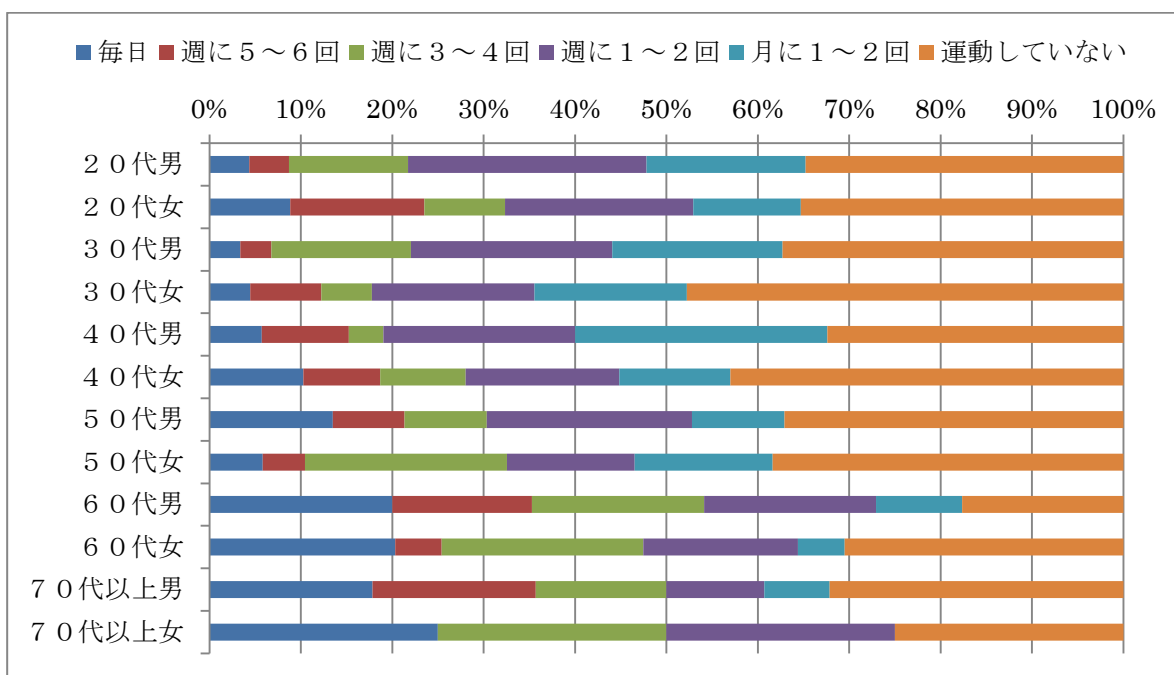
※運動やスポーツの例：ラジオ体操、ストレッチ体操、腹筋・背筋など軽いトレーニング、ウォーキング、ランニング、水泳、ゴルフ、テニス、バレーボールなどの様々な運動やスポーツ（運動には、通勤方法に徒歩や自転車を入れるなど日常生活での工夫した運動も含む。）



全体的に、男性の方が女性よりも運動・スポーツの実施回数が多く、運動している人については男女ともに、週に1～2回の実施割合が一番高くなっています。



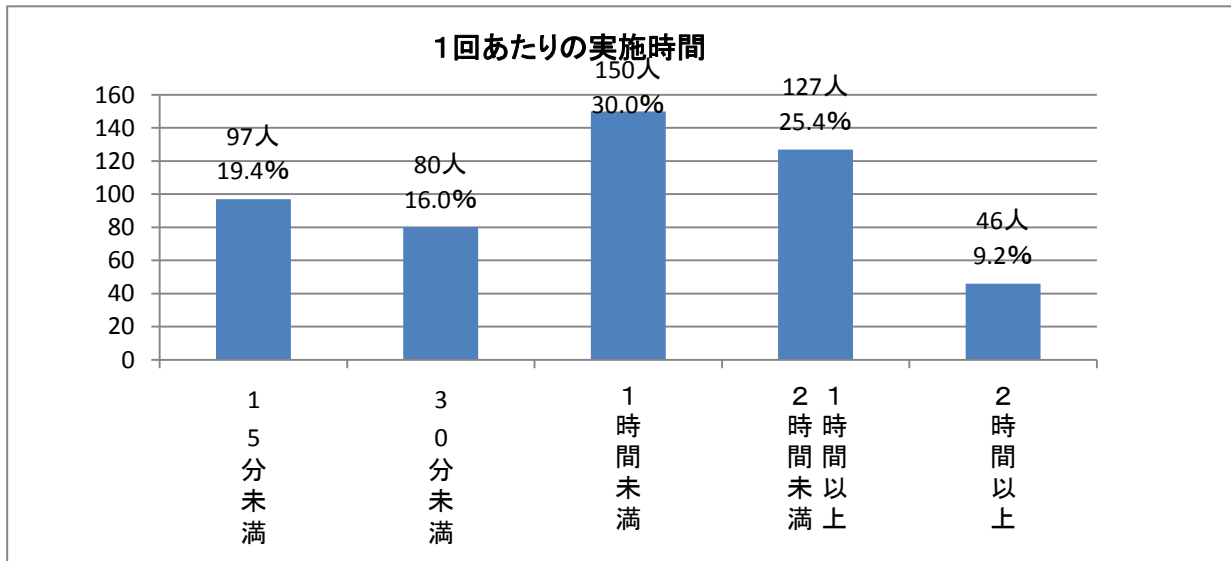
週1回以上の運動・スポーツ実施率は、60代以上の年代が高い傾向にあります。また、男性の方が、女性よりも実施率が高くなっています。



60代、70代は、週に3～4回以上実施している人の割合が高くなっています。

Q2 運動・スポーツの実施回数について

1回（1日に複数回に分けて実施する場合は、1日の合計時間。）あたりの運動またはスポーツの実施時間について、あてはまるものを1つ選んでください。



月に1回以上運動（「毎日」～「月に1～2回実施」）していると回答した人では、1回あたりの実施時間が「1時間未満」と回答した人が最も多くなっています。

Q3 運動・スポーツの内容について

あなたが実施している運動やスポーツについて、あてはまるものをすべて選んでください。

種目名	体操	ウォーキング	なるべく運動	キャッチボール	ボウリング	ジョギング
男性	74	145	52	0	2	27
女性	61	78	63	8	2	21
合計	135	223	115	8	4	48

種目名	水泳	室内運動器具	スキー	登山	ハイキング	ゴルフ
男性	14	37	12	12	4	35
女性	11	28	8	9	4	12
合計	25	65	20	21	8	47

種目名	サイクリング	野球	バレー、バスケット	テニス、卓球	その他
男性	23	10	1	19	33
女性	6	7	1	12	34
合計	29	17	2	31	67

備考 1:「その他」は筋トレ、ヨガなど

2:種目名は代表種目での表記としているため、設問の種目名とは表記が異なります

実施している種目については、多い順で、「ウォーキング（散歩、ハイキングなどを含む）」が28.7%（223人）、「体操（ラジオ体操、エアロビクスなど）」が17.4%（135人）、「日常生活において、極力歩くこと又は運動することを心がけて実践している（自転車通勤など）」が14.8%（115人）となった。

年代別の取組種目(上位5種目)

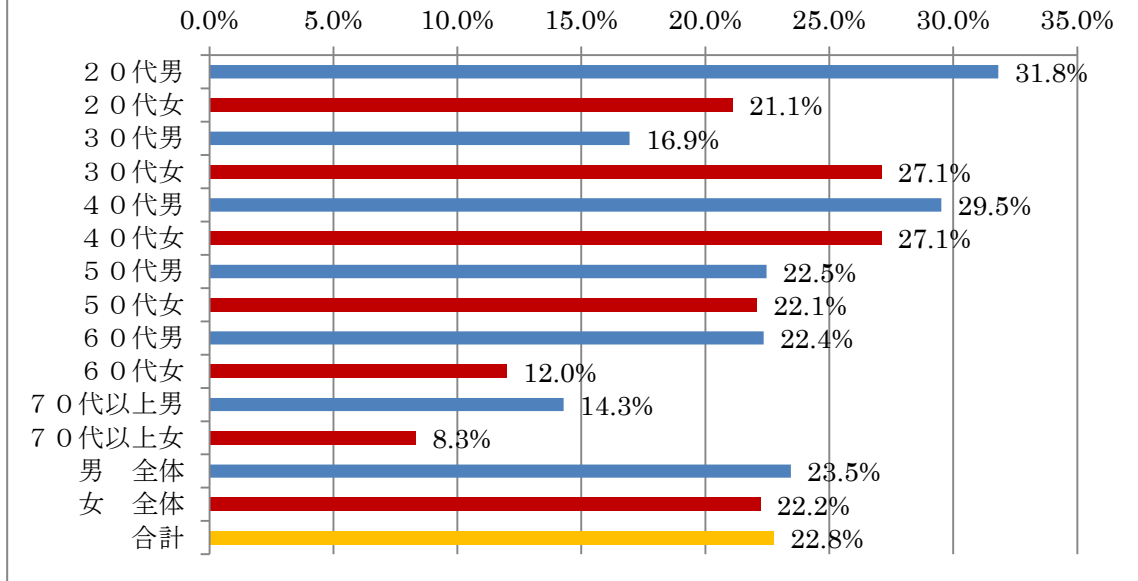
	1位	2位	3位	4位	5位
20代	なるべく運動	ウォーキング	体操	ジョギング、室内運動器具	—
30代	体操	ウォーキング	室内運動器具	ジョギング	テニス、卓球
40代	ウォーキング	体操	なるべく運動	室内運動器具	ジョギング
50代	ウォーキング	体操	なるべく運動	室内運動器具、ゴルフ	—
60代	ウォーキング	なるべく運動	体操	ジョギング、サイクリング	—
70代以上	ウォーキング	体操	室内運動器具	登山	テニス、卓球、ジョギング

年代別にみると、20代では「なるべく運動」、30代では「体操」、40代以上では「ウォーキング」を実施している割合が高い回答となっています。

Q4 スポーツボランティアへの参加について

あなたは、三重県内で開催されるスポーツイベント（マラソン大会等）でのボランティア活動に参加したいと思いますか。

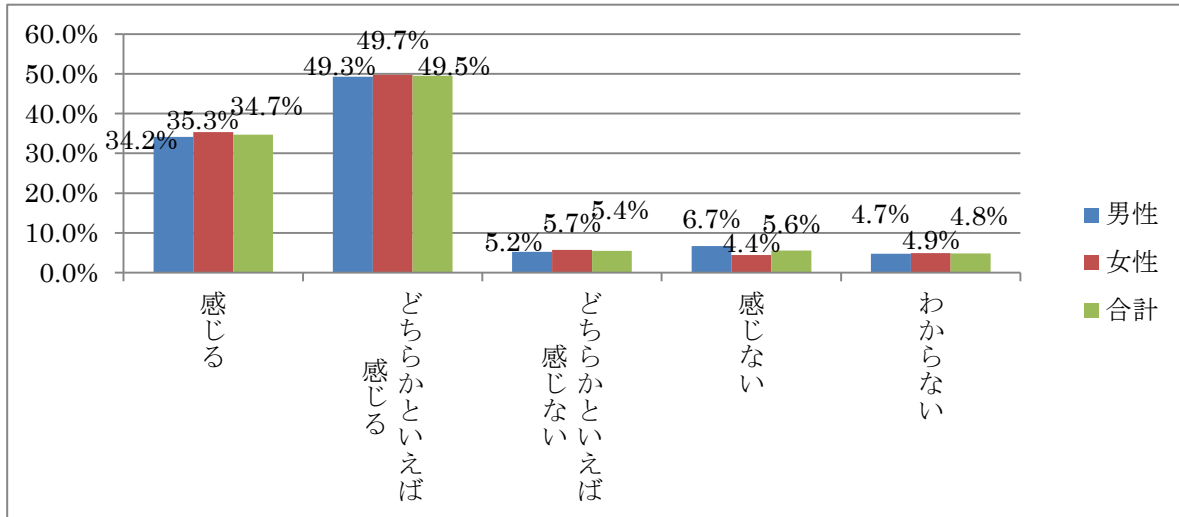
スポーツボランティアに参加したいと回答した人の割合



20代及び40代の男性が「参加したい」と回答した人の割合が高く、60代の女性や70代以上の方が「参加したい」と回答した人の割合が低い傾向にあります。

Q5 スポーツについて

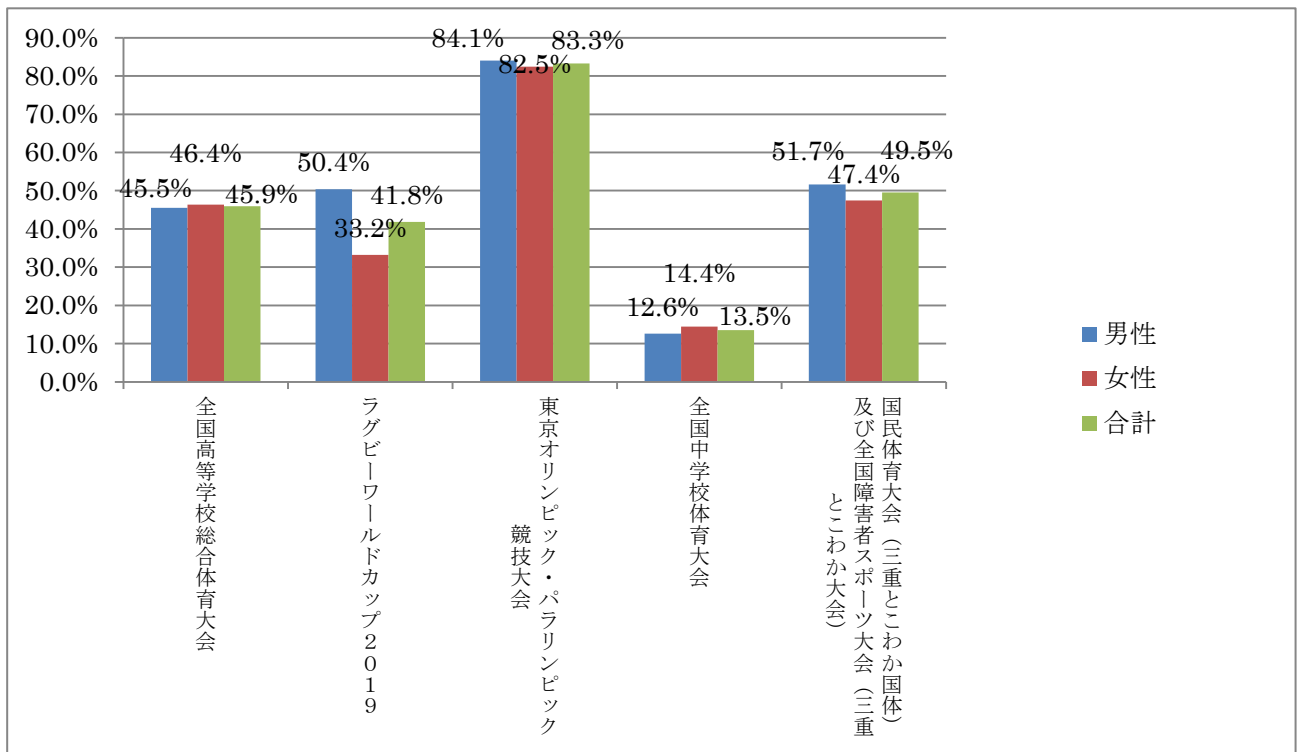
あなたは、スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じますか。あなたの実感に最も近いものを1つ選んでください。



「感じる」または「どちらかといえば感じる」と回答した人の割合は男女とも80%を超えています。

Q6 スポーツ大会について

あなたは、つぎのスポーツ大会が行われることをご存知ですか。ご存じのものをすべて選んでください。

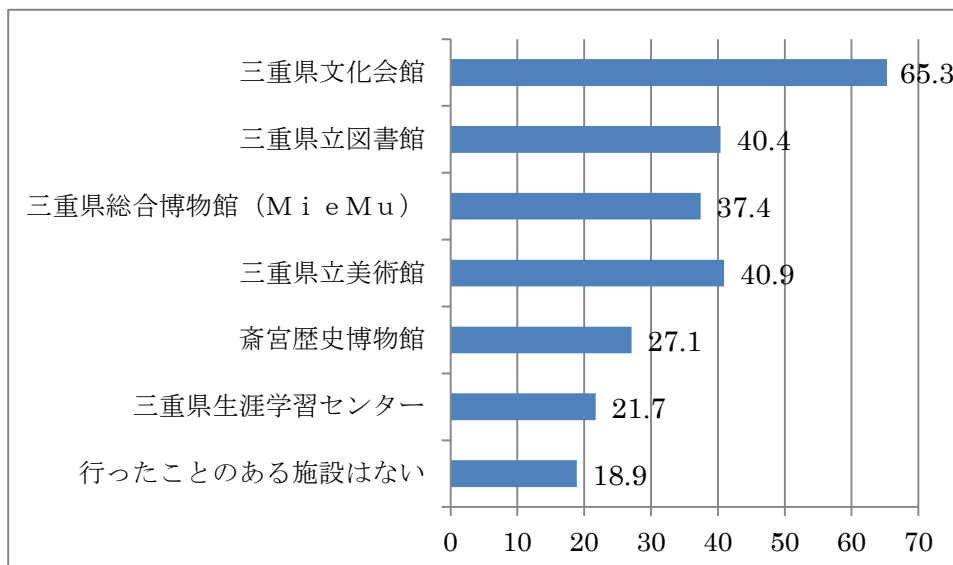


「全国中学校体育大会」においては、「知っている」と回答した人の割合が全体で13.5%と低い傾向となっていますが、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会」においては、「知っている」と回答した人の割合が全体で80%超と高い傾向となっています。

Q7 これまで行ったことのある県立文化施設について

次の県立文化施設のうち、あなたがこれまでに行ったことのある施設はどれですか。

(単位：%)

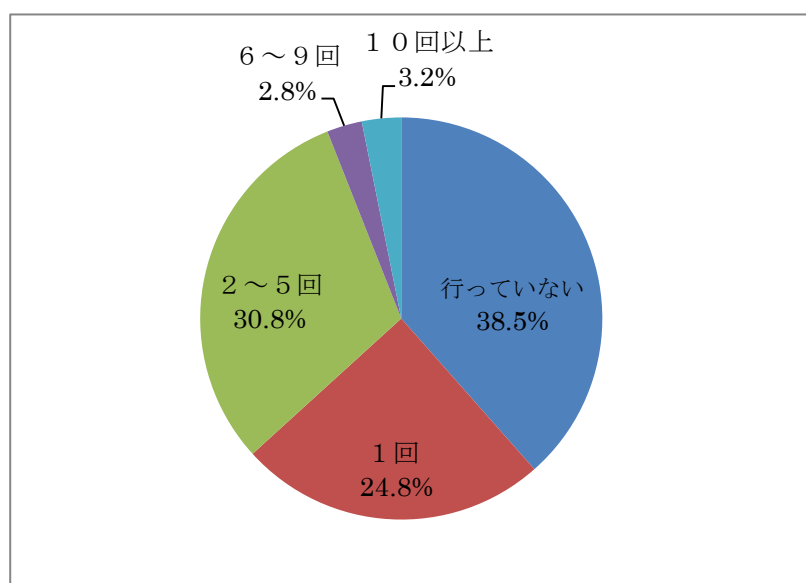


県立文化施設に行ったことがあるとの回答は全体の約8割となりました。個別にみると、「三重県文化会館」(65.3%)が他の県立文化施設と比べて特になくなりました。これは、同館では他館と比較するとコンサートや演劇をはじめとして、さまざまな公演やイベントが数多く行われているためではないかと思われます。

なお、回答傾向は、昨年度のアンケート結果とほぼ同様ですが、「三重県総合博物館(MieMu)」(37.4%)については、約5ポイント回答率が上がりました。

Q8 昨年1年間で県立文化施設に行った回数について

あなたは、昨年1年間で展覧会や公演、イベント等のため、県立文化施設に何回ぐらい行きましたか。

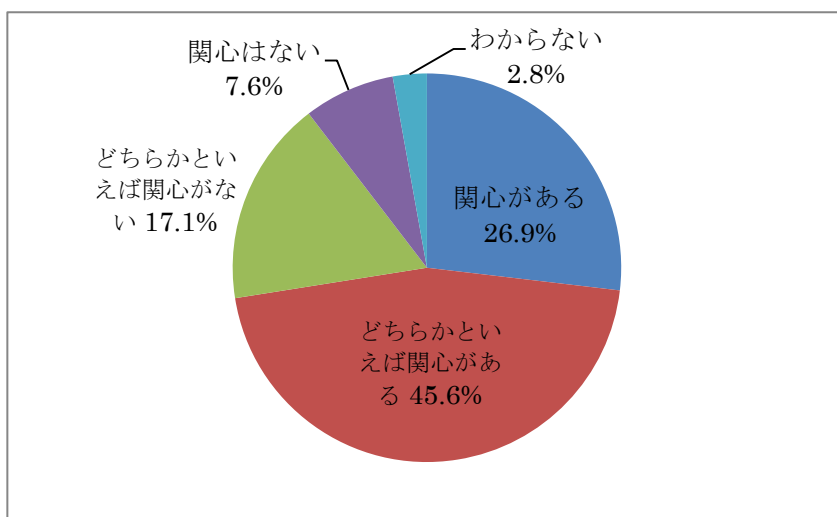


Q7でこれまでに県立文化施設に行ったことがあると回答した方を対象に、昨年1年間に県立文化施設に行った回数をお聞きしたところ、「2～5回」(30.8%)が最も多く、次いで「1回」(24.8%)、「10回以上」(3.2%)、「6～9回」(2.8%)の順となりました。一方で「行っていない」(38.5%)との回答も約4割ありました。

Q9 文化芸術への関心について

あなたは、文化芸術(※)に関心がありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

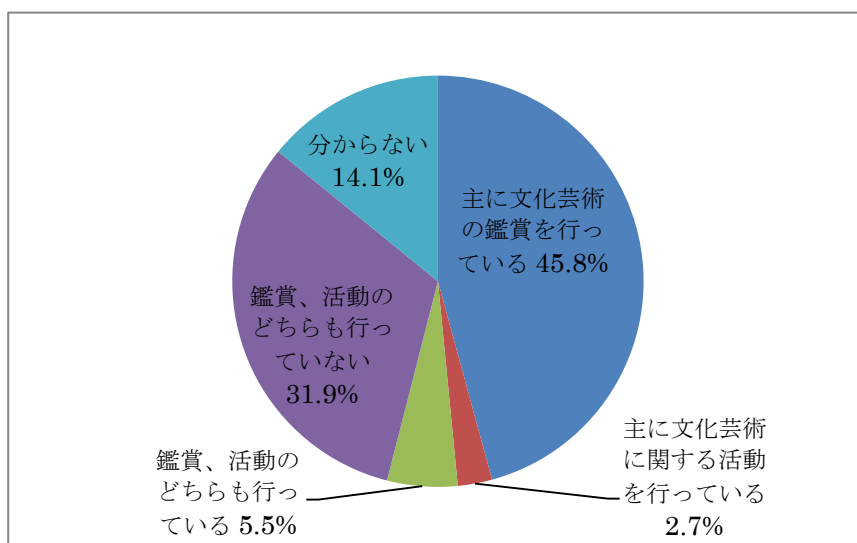
※「文化芸術」には、文学、美術、音楽、演劇・舞踊、写真、メディア芸術、伝統芸能、生活文化等を含みます。



「関心がある」(26.9%)と「どちらかといえば関心がある」(45.6%)を合せると7割以上の方が文化芸術に関心があるという回答でした。

Q10 文化芸術にふれ親しむ方法について

あなたが日常生活で文化芸術にふれ親しむ方法として、最も近い行動はどれですか。

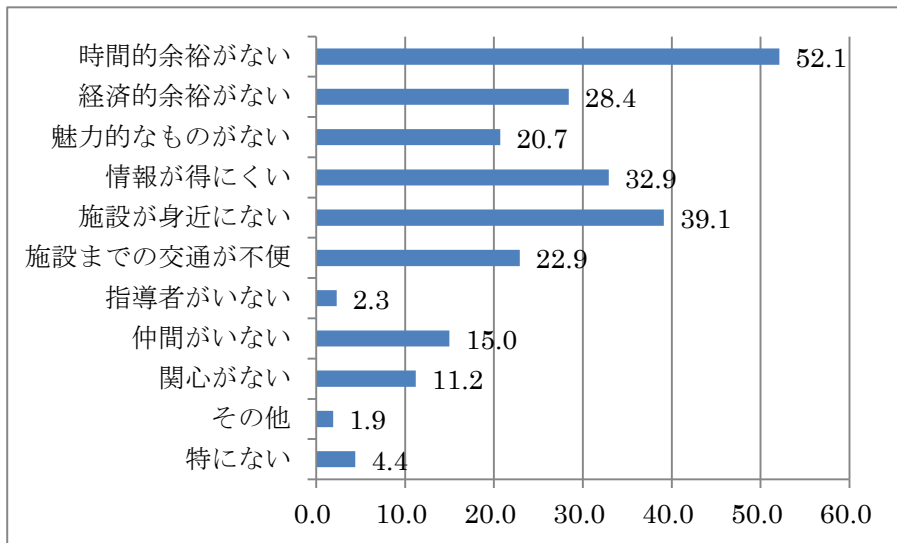


「主に文化芸術の鑑賞を行っている」(45.8%)が最も多く、「鑑賞、活動のどちらも行っている」(5.5%)、「主に文化芸術に関する活動を行っている」(2.7%)の順となりました。一方、「鑑賞、活動のどちらも行っていない」との回答も約3割ありました。

Q11 文化芸術の鑑賞の妨げについて

あなたが文化芸術の鑑賞を行うにあたって、その妨げになることは何ですか。

(単位：%)



「時間的余裕がない」(52.1%)が最も多く、「施設が身近にない」(39.1%)、「情報が得にくい」(32.9%)の順に多い結果となりました。

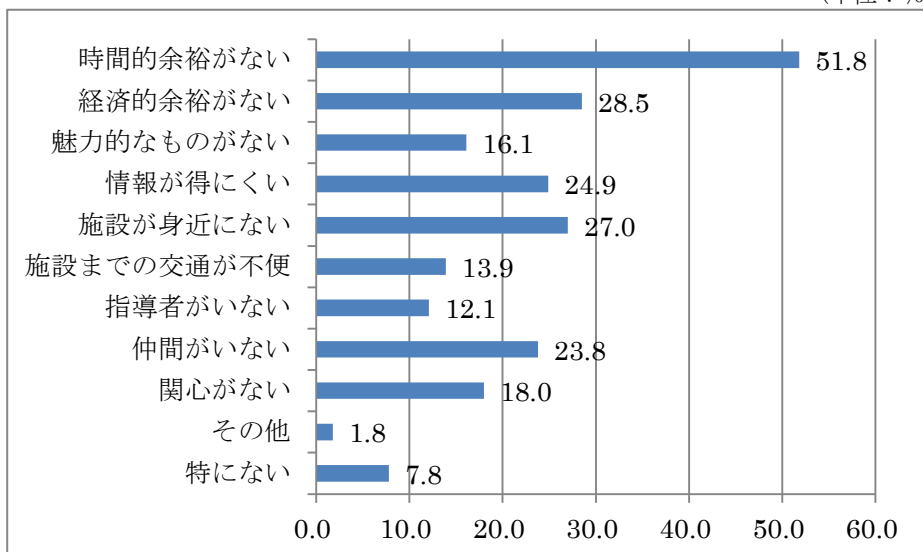
なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・魅力的なものが少ない
- ・健康上の都合
- ・子供が幼い、介護等の家庭の事情

Q12 文化芸術に関する活動の妨げについて

あなたが文化芸術の活動を行うにあたって、その妨げになることは何ですか。

(単位：%)



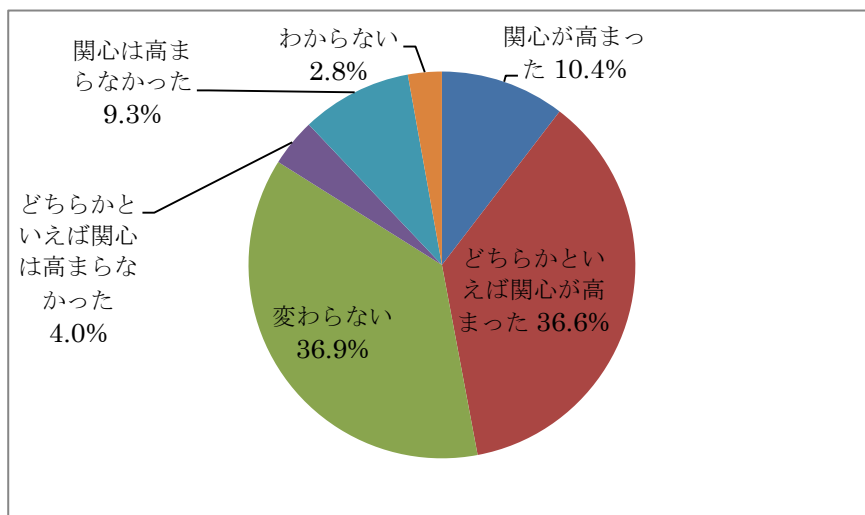
「時間的な余裕がない」(51.8%)が最も多く、「経済的な余裕がない」(28.5%)、「施設が身近にない」(27.0%)の順に多い結果となりました。

なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・きっかけがない
- ・施設が閉鎖されたため
- ・健康上の都合
- ・子供が幼い

Q13 みえの歴史文化への意識の変化について

昨年から今年にかけて、伊勢志摩サミットやお伊勢さん菓子博の開催、「山・鉾・屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録など、みえの食文化や伝統芸能等が国内外から注目される機会がありましたが、みえの歴史文化へのあなたの意識に変化はありましたか。

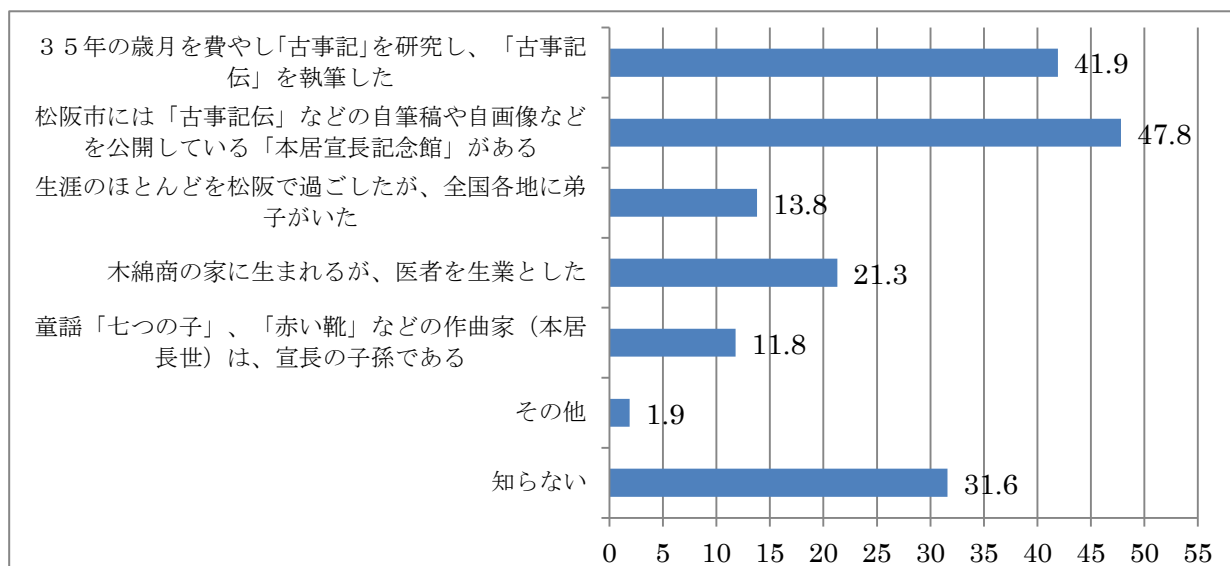


「関心が高まった」(10.4%)と「どちらかといえば関心が高まった」(36.6%)を合すると約半数の方が関心は高まったと回答する一方で、「変わらない」(36.9%)又は「どちらかといえば関心は高まらなかった」(4.0%)、「関心は高まらなかった」(9.3%)との回答も約半数ありました。

Q14 本居宣長について

県では、松阪が生んだ偉大な国学者・本居宣長をテーマに、10月14日に県総合文化センターで「宣長サミット」を、また9月30日～11月26日には県立美術館で「本居宣長展」を開催します。本居宣長について、あなたのご存じのことはありますか。

(単位：%)



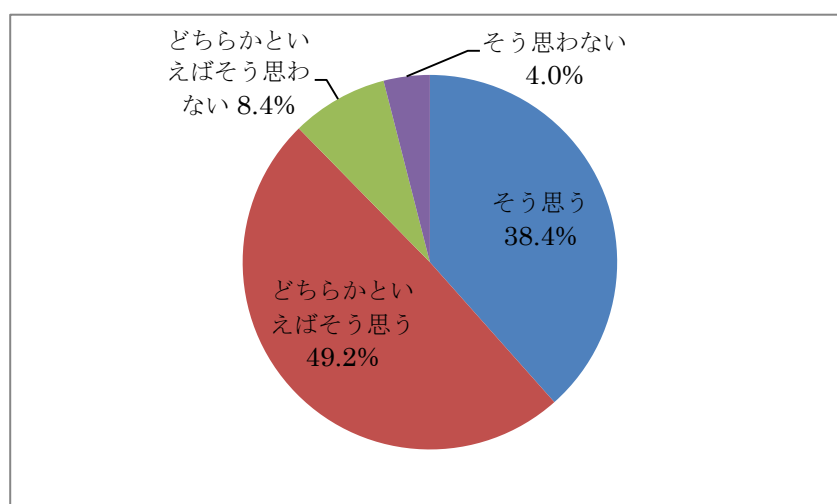
「本居宣長記念館がある」(47.8%)、「古事記伝を執筆した」(41.9%) ことを知っている方が4割を超える一方、「知らない」(31.6%) との回答も約3割ありました。

なお、「その他」の主な内容は次のとおりでした。

- ・鈴のコレクター
- ・鈴先生

Q14 三重県に対する誇りや愛着について

あなたは、三重県には全国的あるいは国際的に誇ることができる歴史的資産等があり、愛着を感じることはできると思いますか。



昨年度のアンケート結果と比較すると、「そう思う」(38.4%) の回答率が4ポイント下がる一方、「どちらかといえばそう思う」(49.2%) の回答率が1.4ポイント上がりました。この2つを合わせると、昨年度に比べ2.6ポイント下がったものの、約9割の方が三重県に誇りや愛着を感じているという回答になりました。